

軽く止める

便り求しし理あり。中にも此閑は三閑

のいにして、風騷の人心をとどむ。秋風を

耳に残し、紅葉を俤にして、

一般

段級

〔奥の細道〕
 (思いを伝える)つてを求めたのも理になつている。数ある閑所の中でも(この白河の閑は)三閑の1つに数えられ、風雅の人が心を寄せる場所である。能因法師の歌を思い出すと、秋風が耳に残るようであり

